【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第５区分
【発行日】平成17年9月29日(2005.9.29)

【公開番号】特開2003-3339(P2003-3339A)
【公開日】平成15年1月8日(2003.1.8)
【出願番号】特願2002-165445(P2002-165445)
【国際特許分類第７版】
　Ｄ０１Ｈ　13/04
　Ｄ０１Ｈ　 9/18
【ＦＩ】
　Ｄ０１Ｈ　13/04　　Ｚ
　Ｄ０１Ｈ　 9/18　　Ｚ

【手続補正書】
【提出日】平成17年5月9日(2005.5.9)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】発明の名称
【補正方法】変更
【補正の内容】
【発明の名称】スライバ貯留装置用回転テーブル
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】特許請求の範囲
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
　入口が回転軸線の近傍又は同軸線上に配置され、且つ出口がその入口に対して半径方向及び軸方向に離れて配置されているスライバ用入口及び出口を備え、空間的に曲げられたスライバ通路を有し、スライバが引張ドラフトを受けており、そして移動するスライバとスライバ通路の内壁との間に相対的な動きがあり、内壁を介してスライバに摩擦抵抗が作用しているスライバ貯留装置用回転テーブルであって、スライバ（９、１３）とスライバ通路（１２）の内壁（１２ｃ）の間の相互作用及び／又は空間的配置を変更することによって、該摩擦抵抗が少なくとも部分的に低減されることを特徴とする回転テーブル。
【請求項２】
　該摩擦抵抗が内壁（１２ｃ）に隣接して部分的に低減可能であることを特徴とする請求項１に記載の回転テーブル。
【請求項３】
　該摩擦抵抗が内壁（１２ｃ）に隣接して区分されて低減可能であることを特徴とする請求項１又は２に記載の回転テーブル。
【請求項４】
　スライバの移動方向で見て中高に曲げられた内壁（１２ｃ）の領域で変更が実現されることを特徴とする請求項１乃至３の一つに記載の回転テーブル。
【請求項５】
　摩擦係数μが低減されることを特徴とする請求項１乃至４の一つに記載の回転テーブル。
【請求項６】
　摩擦角αが低減されることを特徴とする請求項１乃至５の一つに記載の回転テーブル。

【請求項７】
曲率半径ｒが増大されることを特徴とする請求項１乃至６の一つに記載の回転テーブル。
【請求項８】
引張ドラフトが低減されることを特徴とする請求項１乃至７の一つに記載の回転テーブル。
【請求項９】
内壁（１２ｃ）が摩擦の少ない材料から少なくとも部分的に構成されていることを特徴とする請求項１乃至８の一つに記載の回転テーブル。
【請求項１０】
内壁（１２ｃ）が摩擦の少ない材料で少なくとも部分的に被覆されていることを特徴とする請求項１乃至９の一つに記載の回転テーブル。
【請求項１１】
内壁（１２ｃ）が少なくとも部分的に区分構造で構成されていることを特徴とする請求項１乃至１０の一つに記載の回転テーブル。
【請求項１２】
スライバ通路（１２）が摩擦の少ない材料から構成されていることを特徴とする請求項１乃至１１の一つに記載の回転テーブル。
【請求項１３】
スライバ通路（１２）の曲がりが連続運転時のスライバ経路のバルーン状の構成に接近していることを特徴とする請求項１乃至１２の一つに記載の回転テーブル。
【請求項１４】
スライバ通路（１２）の入口が設けられていることを特徴とする請求項１乃至１３の一つに記載の回転テーブル。
【請求項１５】
スライバ（９、１３）に作用する力が、内壁（１２ｃ）へのスライバ（９、１３）の押し付け力（P_1、P_2）に等しいかそれより大きいことを特徴とする請求項１乃至１４の一つに記載の回転テーブル。
【請求項１６】
スライバ通路（１２）が少なくとも部分的に円形の断面を持つことを特徴とする請求項１乃至１５の一つに記載の回転テーブル。
【請求項１７】
スライバ通路（１２）の断面が少なくとも部分的に楕円形であることを特徴とする請求項１乃至１６の一つに記載の回転テーブル。
【請求項１８】
スライバ通路（１２）の断面が少なくとも部分的に多角形、例えば矩形、正方形であることを特徴とする請求項１乃至１７の一つに記載の回転テーブル。
【請求項１９】
最大接触圧の位置（ｘ、ｙ）での摩擦抵抗が、つまり内壁（１２ｃ）に対するスライバ（９、１３）の摩擦抵抗が低減可能であることを特徴とする請求項１乃至１８の一つに記載の回転テーブル。
【請求項２０】
スライバ通路（１２）の出口が楕円形断面を有していることを特徴とする請求項１乃至１９の一つに記載の回転テーブル。
【請求項２１】
磁界及び／又は電界がスライバに作用されることを特徴とする請求項１乃至２０の一つに記載の回転テーブル。
【請求項２２】
容器（１１）の引張ドラフト及び動きが、互いに、例えば運転制御により調和されることを特徴とする請求項１乃至２１の一つに記載の回転テーブル。